令和７年度土砂災害に対する防災訓練（地域別）実施要領

１ 目的

土砂災害から命を守るため、「土砂災害警戒区域」に居住する世帯が、「大雨時のわが家の行動チェックシート」を使用し、**いつ、どこに、どうやって避難するのか**を具体的に検討することで、いざという時に迷わず避難行動をとれることを目的とする。

また、町内会・区内に「土砂災害警戒区域」がある自主防災会については、高齢者世帯等の避難の際に支援が必要な方に対するサポートや区域内住民の安否確認等について、検討や手順の確認並びに実地訓練を行う。

２ 訓練日時

令和７年６月　土砂災害防止月間

３ 訓練対象者

・「土砂災害警戒区域」に居住する世帯
・町内に土砂災害警戒区域がある自主防災会

４ 訓練内容

①町内にある土砂災害警戒区域の把握、避難行動要支援者の把握
※別紙「土砂災害ハザードマップ」を町内で共有、掲示を行う。
②大雨時の避難行動の確認、実行（「土砂災害警戒区域」に居住する世帯が対象）
※別紙「大雨時のわが家の行動チェックシート」を該当世帯へ配布し実施する。
　警戒区域内の世帯を中心に実働訓練を実施する。

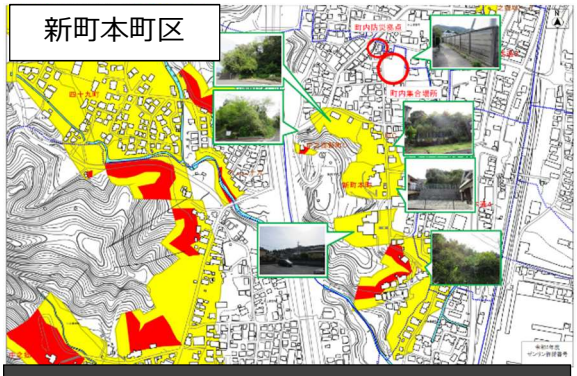
５ 訓練報告

各自主防災会において、訓練終了後、「土砂災害に対する防災訓練実施報告書」を防災危機管理課（メール・FAX 可）又は各地区まちづくりセンターへ提出してください。

・提出期限：７月１日（土砂災害防止月間終了まで）
※訓練を実施しない場合でも、土砂災害警戒区域内にお住いの世帯や人数を記載の上、ご提出をお願いいたします。

参考：土砂災害に対する防災訓練（モデル地区）の様子

新町本町区



地域の危険箇所をまとめたハザードマップ作り

新町本町区

地域の避難行動要支援者の把握

■訓練シナリオ例

時　間	訓練内容
前　日	台風の接近により、翌日の午後から夜にかけて猛烈な雨が予想され、ニュースや天気予報で土砂災害や河川洪水などに**厳重な警戒が呼び掛けられている**。
当日早朝	雨が降り始め、**雨粒が屋根や窓を強く打ち付ける音**が聞こえる。
午前8:30	富士市に**「大雨警報（土砂災害）」**が発表される。
午前9:00	富士市に**「土砂災害警戒情報」**が発表され、土砂災害警戒区域内の住民に対して市が**「警戒レベル４、避難指示」**を発令。
	自宅周辺で**土砂災害の前兆現象**を確認。 例）・斜面から水が吹き出たり、小石がぽろぽろ崩れている ・河川で石が転がるような音がする ・樹木の根が切れるような音がする　など 個人 各家庭で計画した避難行動の実施 町内 安否確認訓練の実施